

総 社 市 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 会 平成29年9月25日 午後3時00分
- 2 閉 会 平成29年9月25日 午後4時29分
- 3 場 所 総社市保健センター2階 資料展示室
- 4 出席又は欠席した委員

出席委員

教育長	山 中 榮 輔
委員長職務代理者	米 谷 正 造
委 員	林 直 人
委 員	小鍛治 一 圭
委 員	三 宅 眞砂子
委 員	上 岡 仁

- 5 会議に出席した者

教育部長	服 部 浩 二
参事兼庶務課長	弓 取 克 哉
学校教育課長	北 川 和 美
こども夢づくり課長	西 村 佳 子
生涯学習課長	横 田 優 子
文化課主幹	平 田 壮太郎
庶務課課長補佐	岩 佐 知 美

- 6 会議録署名委員

山 中 榮 輔	米 谷 正 造
---------	---------

- 7 付議事件

議案第21号 総社市教育委員会表彰について

原案可決

- 8 議事の概要 別紙のとおり

開会 午後3時00分

山中教育長 ただいまから教育委員会を開会いたします。

この委員会には、議案1件が付議されております。

では、まず、会議録の署名委員についてであります。会議録署名委員は、会議規則第16条の規定により、私の他に出席委員中、米谷委員にお願いします。

山中教育長 では、議案第21号「総社市教育委員会表彰について」事務局から説明願います。

各課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいま事務局から説明がありました議案第21号について、質問はありませんか。

【質疑なし】

山中教育長 お諮りいたします。議案第21号について可決してよろしいか。

(異議なし)

山中教育長 ご異議がないようですので、議案第21号については可決いたしました。

山中教育長 では、私のほうから報告をいたします。上岡委員に幼稚園の教職員の現場アンケートを6月に実施していただいた結果が出ておりますので、後ほど報告をお願いいたします。

8月29日に、教員の多忙解消の中の一つとして、保護者や地域の方からのクレームへの法的な対応の仕方と実例について、弁護士による研修会をしましたが、非常に好評でした。実は去年、県の教育委員会がいろいろな事案について弁護士協会の担当弁護士から話しを聞いたのですが、非常によかったので、今回開催しました。

9月4日から3週間、文科省から研修生として二見さんという女性の方が来られました。総社がいいところで対応も気に入ってくださって、送別会の時は涙ぐんでおられました。

来月10月、11月にかけて、選挙管理委員の永田委員が4中学校の3年生に主権者教育をしたいということで、各中学校ごとに順番に回っていただくことになりました。以上でございます。

山中教育長 次に報告事項に移ります。まず8月の定例議会等の報告について、事務局から説明願います。

服部教育部長 先に開催されました8月の定例市議会での一般質問等教育委員会に関係するものを何点かご報告させていただきます。通常議会は9月でございますけれども、昨日ちょうど選挙がございました関係で、少し前倒して8月の定例議会ということになりました。

今回の一般質問は9名の議員さんが質問に立たれまして、そのうち教育委員会に関係するものが6・7点程度ございました。まず1点目、現在、文化財保護法の改正が予定されております。この改正の内容というのは、従前の保存重視というところから活用をしていこうという内容に改正が進んでおりまして、それを受けましてのご質問でございますが、鬼ノ城へ

の入域料を徴収してはどうかというご質問でございました。鬼ノ城の環境であるとか、文化財としての維持管理のために入域料を入れてくださる皆様からいただければよいのではないかとということでございました。ただ鬼ノ城というのは山の周辺、ある程度何ルートか入山することが出来ますし、そのすべてにゲートなりを設けてというのは非常に民主的でない。現在でも年間5万人程度の方が見学に訪れていることもございますので、考え方としては、入域料というのは設けないけれども、適正な管理をこれからも進めていこうということでございます。現在5万人と申し上げましたけれども、ビジターセンターのすぐそば、西門へ通ずる入口の所にセンサーを一箇所設けておまして、そこを通過した方の数をカウントしているのがその5万人という根拠になっています。ほぼこの5万人という数字は横ばいで、文化財の維持という点からあまりたくさんの方が来られても少し考えないといけないのかなということがございますが、現実としてはそういうことになっております。

2点目、学校給食のご質問がございました。いわゆる地産地消、地元産の野菜の地食べ率の状況がどうか、いわゆる給食費を一般会計で補填してあげてはどうかという趣旨のご質問でございました。いわゆる地食べ率というのは5年前ぐらい前から取り組んでおまして、学校給食への割合というのは現在34%程度になっております。目標は40%ということで、市内で調達できる野菜であればその4割は市内産を使っていこうと決めさせていただいております。ただどうしても調達コストが少し割高になりますので、地食べの野菜をたくさん使おうとすると給食費の材料代が非常に会計的に苦しいのではないかと。ならば一般会計から補填してあげればどうなのか、というような趣旨のご質問でした。基本は、学校給食につきましては、食材費はご父兄に一定のご負担をいただいて、調理・配送という部分を市が受け持つという役割分担の形は変えないでいただこうと。給食費を実際負担いただいているというのも、学校給食に親御さんが関心をもっていただくということもございますので、方針としてはご父兄のご負担でお願いしたい。ただ当然地食べ率については検討を進めまして、先般も地食べ公社の担当者と調理場の栄養教諭等と一緒に集まりまして、情報交換をしました。やはり今までも取り組んでおりましたが、なかなか話をしてみると気が付かない所も多く有りまして、いろんな工夫をすればまだまだ地食べ率というのは目標、最終は50%ぐらいまでもっていききたいということもございますので、そのあたりまでは取り組んでいききたいということでございます。

次に、中学校のグラウンドのご質問がございました。雨が降ると水たまりが出来てなかなか水が引かない。特に東・西中のグラウンドについてのご質問でございました。実際現場に行きますとやはり水はけが十分で、原因はその周辺の側溝等がかなり土砂で詰まっております。流れる水路が確保できていないということがすぐに分かりました。東中あたりは部分的にですがそういった泥上げを効果的な部分から進めていこうかと思っております。土を入れ替えるとか暗渠を埋めるとかは非常に大事になりますし、使えない期間も出てまいりますので、そういった対応可能なところからやってみて様子を見ようということでございました。

次のご質問は、保育士の実態についてのご質問でした。待機児童の問題は保育士がなかなか確保できないからで、なぜ保育士が足りないかという、やはり勤務の実態・処遇が他の職に比べて悪いのではないかというお考えからのご質問でした。市内の保育所というのは、総社市は直営でやっておりますのは2箇所しかございません。他は全て社会福祉法人のいわゆる民間の保育所でございますので、保育士さんの実際の処遇、給与面ですとか、細かいところはつかめませんが、全般的にいろんな統計からみると、やはり保育士の業界というのは他の業界に比べて若干給与面でも劣っていると出ております。市内の民間保育士さんへのアンケート調査を先般実施し、今取りまとめ中なのですが、いったい何が仕事を続けていく上で非常に困難になっているのか、給与なのか職場の環境なのか、仕事の多さなのか、人間関係ということもございましょうし、そういったところを保育士の声を聞くところから対策を進めていこうと考えています。

最後ですけれども、今準備を進めております井尻野幼稚園と総社保育所を一つにした新認定こども園の関係のご質問がございました。学区としては中央小学校の学区での事業ということもございます。たまたま同じ時期に中央小学校区の放課後児童クラブも増設を予定しております。同じ時期にいろんな事業が重なることもありましたが、リブの所から井尻野に抜ける中央小学校前の道路は踏切が2箇所あることもありますし、交通的に通学路であっても非常に危ないのではないかと、というような考え方から、混雑の解消をこの事業にからめて出来ないのかというようなご質問がございました。なかなか住宅が密集しておりますし、道路の拡幅は簡単には出来ませんが、たとえば今回こども園を設置するにあたりまして、若干道路を後ろ側に引くとか、見えにくいような交差点を少し広く取るとか、可能なことはやっぴいこうということもございまして、建設部の方とも相談しながら進めていきたいと答弁させていただいたところでございます。

山中教育長 ただいまの事務局の説明に対しましてご質問等はありませんか。

【質疑なし】

山中教育長 それでは次に「総社小学校の改築について」事務局から説明願います。

弓取庶務課長・平田文化課主幹 【事務局説明】

山中教育長 ただいまの事務局の説明に対するご意見・質問等はありませんか。

【質疑・答弁】

米谷委員 校舎についてではないのですが、グラウンドの整備について。先ほど東・西中は水はけが悪いけれども、今度のグラウンドはもともとグラウンドでない校舎地ですよ。そういう所に対応は考えられているのですか。

弓取庶務課長 そのあたりにつきましては十分考慮してあり、真砂土もちょっと厚めに入れるような対応をしております。

米谷委員 運動会の時総社高校のグラウンドでということで、今これはされているかも分かりませんが、高校生ボランティアは必修でしたっけ。地域のボランティアが必修になって

ませんでしたっけ。運動会があろうとなかろうといいんですけど、総高生、土日ならば子供たちと接してくれればいいな、という思いつきなんですけど。

弓取庶務課長 貴重なご意見ありがとうございます。そういった部分も含めてまた総社小学校の先生と、説明会等のやり取りもごしますので、そのあたりをお願いしてまいりたいと思います。

山中教育長 他にご意見はありませんか。

林委員 位置的には今発掘しているところ、去年もやってた所に校舎が建つというふうに考えればいいんですかね。あと1点、運動会の練習とか体育の時とかはどういうふうに考えていらっしゃるんですか。

弓取庶務課長 本大会はやはり総社高校という形になります。練習につきましては、今学校とも相談中です。今、中庭部分と校舎正門を入れてすぐ右手ですね、運動場の西側が小グラウンドになっております。そういったところで練習をしながら、全体の練習をまたどこか借り切ってやりたいなど。具体的には詰めておりませんが、小さいクラスごとの練習、学年ごとの練習は今の中庭とかで行って、全体会はどちらかの学校を借りて行いたいと今計画しているところです。

山中教育長 他にご意見やご質問はありませんか。

三宅委員 あまり関係ないかもしれませんが、総社高校と総社小学校と連携したらいいなという話ですが、いま小・中はきらめき交付金で連携が取れているけれど、高校に入ってから問題が出る子が多いので、そこを含めての連携ができたらいいなという意見を聞きました。

弓取庶務課長 ありがとうございます。小・中から高校に上がると、子供たちの様々な情報等がそこで失われてしまうというか、消えてしまうというのはいろんな部分であります。たとえば総社小学校の運動会が高校で行われるということがきっかけになって小中高とでうまく連携がとれば、ある意味いいモデルのなるのではないかという期待もしながら、来年の運動会に向けていきたいと思います。ありがとうございます。

上岡委員 元小学校の校長だったので。総社小学校は総社高校と連携をしています。夏休みに高校生に勉強を見てもらう。そういう活動をやっているんです。全員の高校生ではないんですけども総社高校とはそういう事で繋がりが出来てますので、もっと拍車が掛かると思います。全然出来ていない訳ではないんです。

山中教育長 よろしいでしょうか。他にご意見、ご質問はありませんか。

山中教育長 無いようでしたら次に、「平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について」事務局から説明願います。

北川学校教育課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいまの事務局の説明に対するご意見・ご質問はありませんか。

【質疑・答弁】

上岡委員 概ね良好だと思います。総社中学校の小6から中3への伸びというものはすごい

など思いました。出島さんに来ていただいて、分析を聞いて、学校の先生方が協議をされたということですけど、総社中学校の伸びはどういうふうに先生方に伝わったのですかね。おそらく工夫されていると思うんですよね。中学校区が低かったのが伸びている訳ですから。そういうのがどういうふうに共有されたのかお聞きしたいのと、県の学力調査の時に申し上げたと思うんですけど、キャリア教育をやりましょうと。各学校に、キャリア教育の全体計画、年間計画があるかどうかチェックされましたか。それは大切なことなので、調べていただきたいと思います。位置づけが学校でなされているかどうか。掛け声だけではなくて、授業のレベルにどういうふうに入っているのか調べていただきたい。

もう1点は、今回英語があったと思うんですけど、英語はどうなっていますか。英語の結果もあったと思います。私は秦小学校区ですが、また最後から2番目だったのですが、またかという感じですが、県の学力調査の時に校長先生が初めて学校便りで、県より上とか下とか初めて出ました。それまで出たことなかったのが。今回どういう形で出てくるのか楽しみにしているんですけど。そういうふうに教育委員会がやっていますと報告しているのですが、実際にしてない学校があるんですかね。そういうところをチェックしていただきたいなと思います。少なくとも保護者には本当のこと、例の全国学力調査の分析フォーマットで説明しなきゃいけないのにしてない訳ですから。やってない学校があるといのを把握していただきたいし、指導もしていただきたいなと思います。

北川学校教育課長 ありがとうございます。まずは総社中の特色ある取り組みにつきましては、総社中学校の数学の教員が中学校区の小学校6年生の算数の授業を教えるというような、そういう加配を既につけております。これによりまして、専門性の高い中学校の教員からの指摘、指導法がそれぞれの小学校区において共有され、そういった問題意識が醸成されやすいことは確かであると思います。加えて小規模校であります新本小学校。特に教育特区にもなるという影響があったのかもしれませんが、非常に学力向上に対しても前向きに取り組んでいただきまして、小学校のレベルアップが中学校にも引き続きつながっていったということが他の学校区と異なると感じているところであります。

それからキャリア教育の位置づけとその把握につきましては、大変申し訳ございません。私の方でキャリア教育の全体計画がどのレベルでどのような細案となって授業で生かされているのかというのは、全部がきちっと把握できておりませんので、至急把握をし整理をさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

それからどのような形で各学校が保護者に伝えているかにつきましては、正直なところ把握が出来ておりません。ご指摘のように、しなければいけない報告、あるいはそのことによって保護者の意識をどのように変えていくのかとの視点が我々に不足しておりますので、こういったこともまずは把握をし、指導するべきところは指導していかなければならないと感じました。ありがとうございました。

それから英語教育の結果ということではありますが、全国のこの学習状況調査には英語は無

かったのではと思います。これも確実に把握ができておりませんので、加えて調査をした上でご報告します。

山中教育長 英語は県が調べたでしょう。

北川学校教育課長 私のほうが整理出来ておりませんので。

山中教育長 端的に言いますと昭和中は良くなかった。東校長先生が失敗して申し訳ないということだったんですけども、実は福武のGTECという4技能を調べるテストがありまして、それにエントリーしたんですが、岡山県内で21校、その中で200点以上が3校。その中で昭和中はトップでした。あまり詳しい内容は良く分からないのですが、詳しい説明をしてくれと言っているのですが、4技能の段階で非常にいいと。3年生ですから、まだ3年間しかやっていないのですが、もう少しすると小学生からやっていた子達が上がってくるので、ちょっと期待は出来るかと思います。読み書きだけでは評価しきれていない。GTECは、英語の4技能を多面的に評価する、かなり詳細な調査ですので、具体的な話は聞いていませんけど、またその内容を教育委員会で情報開示したいと思います。

キャリア教育の視点ですけれども、あまりきちっと統一したものは出来ていません。確認をこれからしなくてはいけないということは先ほど言いましたが、結構ばらばらではないかと思っています。少し学校全体も落ち着いてきたので、学力も少し上がってきたので、次のステップとしてキャリア教育だなと。順番だと思うんですね。落ち着いた状態になって、学力が上がってきて、次にキャリア教育をやると。両方同時にやるという手もあるんですが、総社中学校区は地元の人達を呼んでいろんな工夫をしたプログラムをやっているんですが、それ以外に、郷土以外にも総社出身で全国規模で頑張っている人がいらっしゃるの、そういう人をどういうふうに紹介するか。これは教育委員会がやらなければいけないことです。学校でやるのと棲み分けをして、プランニングの指導モデルみたいなものを作っていくかといけないと思います。

山中教育長 よろしいでしょうか。

山中教育長 次に「文化イベントについて」事務局から説明願います。

平田文化課主幹【事務局説明】

山中教育長 ただいまの説明に対しましてご意見、ご質問等ありませんか。

【質疑・答弁】

米谷委員 高木先生の追悼展ですが、我が郷土が誇るこれは、どういうところに情報が流れているのか分かりましたら教えてください。

平田文化課主幹 まだひと月ぐらひはありますが、公民館及び学校関係にチラシを配布しております。

米谷委員 市外は。

平田文化課主幹 市外は博物館、美術館関係、それから文化関係の担当部署に送付しております。

米谷委員 ありがとうございます。

山中教育長 よろしいでしょうか。

山中教育長 それでは次に「教育委員会研修視察について」事務局から説明願います。

弓取庶務課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいまの事務局からの説明についてご意見、ご質問はありませんか。

【質疑なし】

山中教育長 よろしいでしょうか。

山中教育長 それでは誠に申し訳ありませんが、突然にお願いしたのですけれども、総社市立幼稚園の職場の環境アンケートの結果を上岡委員にまとめていただいておりますので、我々が考えてなかったようなポイントがありましたので、是非ご説明をお願いいたします。

上岡委員 読んでいただけたら大体分かると思うので、ポイントだけ5つ申し上げたいと思います。1つは幼稚園の先生方は、幼稚園教育としての専門性が身につけていると。肯定的にとらえておられるのは素晴らしいことだと思います。そういうことが分かりました。2つ目は職場環境ですね。明るくて風通しが良くて、支えあい高めあうような環境が出来ていると回答されています。これも素晴らしいことだと思います。3つ目から課題になるのですが、公立の幼稚園ですので公務員です。従って人事考課をやっている訳です。その中に目標管理があるんですが、目標管理は県の教育委員会のもを使って、平成19年からやっているはずなんです。そこに私はすごく興味があって、どういうふうに進化しているのかなと思ったのですが、先生方の立ち代り入れ代わりとかがあったのでしょうか。意外に根付いていなかったのがショックでした。小さい組織だから仕方がないかなと思うのですが、結論から言いますと、目標管理が管理職と職員の一対一関係で終わっているということですね。それが横に広がって、目標がお互いに共有されるとチームワークとか組織の活性化につながるのですが、目標管理が個人のレベルで終わっている課題がありました。4つ目は、小学校・保育所との連携ですね。今一番叫ばれているんですが、非常に意識が低いというか、これからだろうと思いますが、今までの実践から回答されておりますので、今まであまりなされてなかったんだと言うのが分かりました。最後に5つ目は、仕事に喜びとか誇りを持っていらっしゃるのですが、これは素晴らしいことなんですけど、かたや心身共に疲れているというのが分かりました。相談できる環境は出来てます。概ね職場とか家庭とでか困ったことは悩みを打ち明けられるような環境はあるんだけど、心身共に疲れているということが分かりましたので、働き方改革というのは小、中、高だけでなく幼稚園でもあるいは保育所でも考えなきゃいけないことだろうと思いました。以上が概要です。

西村こども夢づくり課長 いろいろ研究していただきましてありがとうございます。この内容につきまして全園長先生はもちろん、その下の人たちにも伝えていただきたいと、この内容を全てお送りしているところでございます。また園長先生からそれについてのコメントなども少しいただいている。また後でお渡しできたらと思っております。中でもコメントの中

ではなかなか協力する意識がチームとして高まるには至っていない部分があります。目標開示、職員への説明が不十分であったりした部分もありました。それから、先生方は、子供が好き、この仕事が好きだけでは務まらない重圧というものを感じられているということがよく分かりました。考課自体を日常の教育実践と強く結び付ける仕組み作りが必要かと。なかなか時間も無く全職員の共通理解が非常に難しい。互いに話をすることは全ての事に効果があると述べておりました。このような内容でまた人事考課に取り組んでいただくとともに、面接などにもこれを利用していただきたいということをお願いしているところです。皆さんが心身共に疲れているという部分、預かり保育もございますし、昔よりもいろいろやることが多くなっている中で、どのような部分を減らしてどのような部分を強化しなければいけないかという部分で、働き方改革ということにつきましても、この間の園長会から幼稚園の方も働き方改革を今後徐々に進めていこうという話をさせていただきながら、学校教育課の下山先生にも県の働き方改革の研修を受けさせていただいて徐々に進めていこうと思っております。今後の参考にさせていただいていい方向に進めていただこうと思います。ありがとうございました。

山中教育長 保幼小との連携がなかなか難しい部分ではありますが。みんなが一堂に会してやるような仕掛けをどこかで作ったほうがいいんじゃないか、それと幼児教育指針的なものを作っていないとなかなかうまくいかない。保育園はほとんど民間ですから。保育園と幼稚園、かなり経営の意識に差があると思うので、そこをうまくみんなと一緒に考えて作るようなものをやらないと。その為には保幼小の連携だと思うので、どういう形で進めるか、各委員のご意見を伺いながら進めたいと思います。

西村こども夢づくり課長 今回高知の方に保幼小の連携と言う形で、高知は進んでおりますので、参考にさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。保幼小の連携は前に比べたら少しずつ進んできていますが、まだまだ足りない部分があると思います。接続プログラムでありますとか、総社でしたらきらめき交付金とか、幼保がなかなか無いんですけども。今中国学園、中国短期大学の先生に入らせていただきまして、中央小学校区と総社西小学校区の2箇所ですが保こ幼小、私立保育所を入れた部分での連携を広げていくとしますので、いろいろ勉強させていただきたいと思います。

林委員 このアンケートについて、質問項目をたくさんされているようなんですけど、中に反転項目ということがあって、これは読んでいるとどういうことなのかと。たとえば5ページの12番(6)、仕事を終えて今日は気持ちの良い日だったと思うことがない。思うことがないということは、83%の先生は思うことがないと言うことを感じているんですね。

上岡委員 反転だから、思うことがないと答えたのが14%。肯定的にとらえているのは逆のところ、まったくそうは思わない。そうは思わないをカウントしている。

林委員 質問項目そのものではないんですね。

上岡委員 そうです。その受け止めを、どう取っているかということですよ。

林委員 7番目の、今の仕事に心から喜びを感じる人がない。ないではなくて感じる人がない人は14%。

上岡委員 そういうことです。

林委員 この質問項目がそのままそうでなくて、違う項目を質問しているんですか。14%しか答えてないということですか。

上岡委員 質問が否定的であっても肯定的にとらえている人数を挙げていっているんです。反転と言うのはそういう意味で、質問は時々逆を聞いていている場合がある訳ですね。それに「ふん」と言ったら否定的な数字を挙げることになる。そうでなくて、肯定をみている訳です。そのまま否定の数字を挙げてもいいんだけどあえて反転項目として、そうじゃなくとも思うことがないと言ったのは例えば(6)なら17%が思うことがないに「はい」と答えたら17%だけど、そうじゃなくとも違うというふうに答えているのが83%。今日は気持ちのいい日だと思うことがそういうのが83%あるという。そういうとらえ方です。そういう意味で、反転項目にしている訳です。

林委員 「ア」はまったくそう思わない。「イ」そう思わない。「ウ」そう思う。「エ」とてもそう思うという順番になっているということですね。そのあたりを理解して、先生方が答えてないと心配で。

上岡委員 質問は反転項目とは書かないんですよ。集計する時にするだけです。質問はそのまま答えていただければいいんです。

林委員 そうは思わないから順番に。じゃないか。

米谷委員 これは何か研究のフォーマットがあるんですか。

上岡委員 そうですね。諏訪先生とかに思想を足してもらってますが。

米谷委員 新たに今回作ったものということですか。

上岡委員 全く違う別物です。

米谷委員 他とまだ比較は出来ないのですか。

上岡委員 総社市が初めてということですか。

山中教育長 他に報告事項等はよろしいでしょうか。

山中教育長 それでは、次回の教育委員会の日程についてであります。既にご承知のとおり、10月31日火曜日午前9時30分から開催いたしますので、ご参集願います。

山中教育長 この際、11月教育委員会の日程を調整いたしたいと思っておりますが、事務局から提案願います。

(11月の教育委員会について日程調整)

山中教育長 では、11月の教育委員会は、11月21日午前9時30分から開催いたします。

山中教育長 では、これで審議がすべて終了いたしましたので、本日の教育委員会を閉会いたします。

【閉 会】

閉会 午後4時29分

上記記録している内容は、正確であるので署名する。

平成 年 月 日

教育長

委 員

職 員